
羽幌町公共施設マネジメント町民アンケート

平素より、町政に対する格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

本町では、昭和 40 年代の高度経済成長期の人口増加や住民ニーズの拡大に伴い、公共施設等の整備を進めてきており、これまで住民生活の質の向上等に貢献してきました。しかし、現在その多くの公共施設等は建設後 30 年を超え、老朽化が進行している状況であり、今後これらの施設が一斉に更新時期を迎えます。

現在の厳しい財政状況や急激な人口減少を踏まえると、今後これらすべての施設を維持していくことは困難な状況であり、このままでは安心・安全で持続的な施設サービスを提供できなくなる可能性があります。

このような状況を踏まえ、公共施設等の現状と課題を把握し、長期的な視点に立ち公共施設等の施設量やコストを見直すなどの具体的な方策をまとめた「羽幌町公共施設マネジメント計画(仮称)」の策定に向けた取り組みを進めています。

そこで、町民のみなさんにアンケート調査をお願いし、本計画に反映させるための基礎資料とするため、ご意見、ご提言をお聞かせいただきたく実施させていただきました。調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜われますようよろしくお願いいたします。

平成 27 年 5 月

羽幌町長 駒井 久晃

ご回答にあたって

-
- ・この調査は、羽幌町が直接行うものです。
 - ・この調査は、羽幌町にお住まいの町民の中から無作為抽出により、**1,200 名の方々**を対象に実施させていただきました。
 - ・調査票は、無記名とし、回答結果は全て統計的に処理されますので、回答内容が他人に知れることはありません。また、他の目的にも一切使用いたしません。

町民アンケートのお問い合わせ先

〒078-4198

羽幌町南町 1 番地の 1

羽幌町役場 財務課財政係 担当：三浦、葛西、廣谷、田中

TEL：0164-68-7001（直通）

FAX：0164-62-1219

メールアドレス：z-zaisei@town.haboro.lg.jp





公共施設マネジメントとは？

→公共施設等^{※1}の余分を省き、施設を効率的に維持管理するもので、安全性・機能性といった施設の充実につなげるための取組です。

■公共施設等が一斉に更新時期を迎えます！

羽幌町には、**505**もの公共施設（道路等のインフラを除く。）があります。これらの建物の延床面積は140,711㎡で、羽幌町の住民1人当たりで換算すると延床面積は約18㎡となり、これは**全国平均の約5倍、道内平均の約1.4倍**になります。

その多くの施設は、昭和40年代に建設され、建設後30年以上経過した建物が56%、**10年後には71%と施設の老朽化が進んでおり、これらの施設が一斉に更新時期を迎えます。**

■すべての公共施設を維持・更新することが困難です！

これまで、必要最低限の補修等により公共施設を維持してきましたが、今後一斉に迎える施設の更新には、**今までの2.1倍のお金が必要になります！**（羽幌町が、過去3年平均で約8.4億円の公共投資予算を使ってきたのに対し、試算では今後17.8億円の公共投資予算が必要です。今までの予算しか使えない場合、約47%の施設しか更新できません。）

また、急激な人口減少により、30年後**羽幌町の人口は今の約半分**になることが予想され、税収入や地方交付税の減少などにより、公共施設に使えるお金が今よりも少なくなります。

■施設の充実を図る必要があります！

現在、予算をやりくりしながら優先順位を付けて施設整備に取り組み、施設の耐震化や、老朽化によって低下した機能の回復、少子高齢化に伴う住民ニーズの変化などに対応していますが、実際には維持補修や耐震改修、設備の更新に予算が追いつかず町民の皆さまには我慢いただいている面もあります。

しかし、町の規模にあった適切な施設量になるように、公共施設の配置や量を一から見直すことで、余分な施設にかかるお金を減らし、**本当に必要な施設の充実にお金をかけることが可能となる**ほか、健全な財政を維持することにつながります。

^{※1} 公共施設等とは、建物及びインフラ（道路、橋梁、上下水道等）を含めた総称を表します。

問7 公共施設の中には、利用者から使用料を負担していただいている施設もありますが、全体の維持管理費に対する利用者の負担割合は約 13%（公営住宅を除く。）であり、残りの約 87%は税金で賄われています。このことに対し、あなたの考えに近いものをお答えください。（※過去3年平均の事業費ベースで割合を試算しています。）

1. すべて利用者負担で賄うべき
2. 税負担は仕方ないが、利用者負担を増やすべき
3. 現状のままでよい
4. 利用者負担を減らし、税負担を増やすべき
5. すべて税金で賄うべき

4

町の公共施設マネジメントの取組・考え方についてお聞きします。それぞれの項目について、該当する番号に○印をつけてください。

問8 あなたは、全戸配布された「羽幌町公共施設白書（概要版）」をご覧になりましたか。
（次の中から、1つだけ）

1. 概要版を読んだ。
2. 概要版を読んでいない。

問9 あなたは、全国的な公共施設等の老朽化問題（笹子トンネル天井崩落事故などに始まる施設・インフラの老朽化の課題）についてご存じでしたか。（次の中から、1つだけ）

1. 知っている
2. 聞いたことがあるが、詳しく知らない
3. 知らない

問10 町は、2ページのような老朽化の現状を踏まえ、今後も安全で安心な公共施設を提供するため、公共施設の縮小や廃止、複合化^{※2}といった取組（話し合い）を進めようとしていますが、これについてどう考えますか。（次の中から、1つだけ）

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対
4. 反対
5. わからない

※2 複合化とは、本来設置目的が異なる施設のスペース（体育館や会議室など）を、施設の有効活用の観点から組み合わせることをいいます。役場庁舎と公民館の複合化や、学校と町民体育館の複合化など。スペースの有効利活用を図ることで、建物の面積を減らすことが出来るほか、施設の管理費用（管理人報酬、火災保険料、光熱水費など）を削減できます。

問 11 公共施設マネジメントを進めた場合、施設の複合化や廃止により、今まで利用できた施設が利用できなくなったり、使用料が値上がりする場合があります。このことに対し、あなたのお考えに近いものをお答えください。(次の中から、1つだけ)

1. 容認できる
2. ある程度までは容認できる
3. 容認できない

問 12 公共施設の量を減らすことを検討した場合、どのような点に重点を置くべきだと考えますか。(次の中から、3つまで)

1. 老朽化が著しい施設
2. 利用者が少ない施設
3. 町民の需要に合わない施設
4. 一部の個人・団体にしか使われていない施設
5. 同じような用途で重複している施設
6. 維持費用がかかりすぎる施設
7. 公共性が低い施設
8. その他（具体的な施設：)

問 13 今後、公共施設の更新や維持に必要な財源が不足する場合、あなたはどのように対応すべきと考えますか。(次の中から、1つだけ)

1. 公共施設を縮小・廃止するなど、財政状況に見合った施設量にする。
2. 利用者が負担すべきであり、使用料を値上げする。
3. 他の公共サービスを削減し、財源を確保する。
4. 町民が負担すべきだから、増税する。
5. 地方債^{※3}の発行など、町が借金をする。
6. わからない
7. その他（具体的な方法：)

問 14 施設規模の縮小も止むを得ないと思われる施設があれば、具体的な施設名（町が所有する全ての建物が対象です。）をお聞かせください。(※ご意見が無い場合は、記入不要です。)

1. ()
2. ()
3. ()

^{※3}地方債とは、町が施設の建設事業等を行う際に起こせる借金のことです。借金は、毎年公債費という予算区分で元金と利子を償還します。

